

# 初代支部長に本田顕子氏

土木技術者女性九州が始動



さつに立った本田支部長は、設立に至るまでの多くの支援に感謝の言葉を述べた後、「九州エリアでの会の活動の歴史は短く、会員もここ数年で入った人が多い。これから他の支部の活動を参考に、さまざまなことにチャレンジしていきたい。私たちの活動が女性だけでなく、みんなが働きやすい環境づくりにつながっていくものと信じて取り組んでいきたい」と語った。

支部役員の紹介後、Webで参加した牛山会長は「支部として独立し、独自の活動ができるようになったことで、より多くの行事を実施できる。女性土木技術者同士が新しく知り合う機会も増える。支部活動の活性化はもちろん、会全体を支える大きな力になる」と歓迎の言葉を述べ、北海道、東日本、中部、西日本、東部の各支部長も今後の活発な活動に期待を膨らませた。

また、会の顧問で国土交通省の山田邦博技監は「新型コロナウイルスの影響で組織活動が縮小していくことが多い中で、久しぶりの明るいニュース。ウィズコロナ、アフターコロナの社会でも、建設業は九州地方の社会経済活動の回復を力強く支えていく大きな一翼を担うと期待している。支部の方々の活躍の場が広がるのではないかと祝福を寄せた。

記念講演では、前会長の渡邊弘子氏が「土木技術者女性の会の歩みと変えていこう、変わっていこう」と題して講演。1983年の会設立の経緯、働きやすい環境づくりや社会的評価の向上への取り組み、支部の見学や勉強会などの活動を紹介し、「慣習にとらわれない斬新なアイデアで働き方を変えていこう」とエールを送った。

式典後は支部会・交流会を開催。今後の活動について、本田支部長は「まずはWebを活用して支部メンバーとコミュニケーションを取り、いろんな話をすることから始めたい。また、全国にいるロールモデルとの情報交換、会員を増やすための情報発信にも力を入れたい」と話した。

(一社)土木技術者女性九州支部は「女性だけの九州支部が28日、活動をスタートさせた。6月の総会で支部設立の承認を受け、この日、記念行事『写真』を福岡市の博多サンヒルズホテルで開催、Webで参加した牛山育子会長や各支部長に、支部役員を披露した。初代支部長に就いた本田顕子氏(福岡

支部を代表して、あい

支部を代表して、あい

支部を代表して、あい

支部を代表して、あい

支部を代表して、あい

支部を代表して、あい

支部を代表して、あい

支部を代表して、あい

支部を代表して、あい

支部を代表して、あい

支部を代表して、あい